|  |  |
| --- | --- |
| **①資料の種類**  □要旨  □本文（） 　　　　　　　　　　(例：第３章２節） | **②直近の締切**  □指導教員への提出締切（　月　　日　　時）  □論文報告会（　月　　日　　時）  □ゼミでの報告（　月　　日　　限）  □その他（）（　月　　日　　限） |
| **③指導教員に確認済の事項**  □論文のテーマ　　　□論文の内容（論旨、論理構成など）　　　□形式（準拠する形式） | |
| **④論文全体の進捗度自己評価** □0～20%（書き始め）　　□21～50%　　□51～80%　　□81～95%　　□96～100%（ほぼ完成） | |
| **⑤論文の骨子**（例:問題意識、主張、根拠等を簡単に書いてください\*500文字程度） | |
| **⑥依頼事項**  □ブレインストーミング  □論理の確認  □日本語表現の助言  □形式の確認（例：引用の仕方、参考文献の書き方、註の付け方・・・etc.）  □その他（）  注:依頼された事項以外は実施しません。  注：業務量と時間に応じて助言の質が変わります。 | **⑦希望実施時間**  □（　　）分（これまでの利用時間　/32時間）  例（ 60 ）分（これまでの利用時間　2/32時間)  注:チューター作業は対面のみ認められています。 注:原稿を読む時間も、実施時間に含まれます。 　原稿を読んでもらっている間は、再度自分で原稿を読んで、修正すべきポイントを自分で見つけるようにしてください。 |
| **⑧チューターへの要望など**（どこを重点に見てほしいか等） | |

チューター側チェック事項：□ ○分あたりに読める文字数、ページ数（　　　　　　）。

□留学生側の依頼事項に忠実なチューター作業を行ってください。

□全文に及ぶ添削は想定されていません。時間厳守がオーサーシップの保護へと繋がります。

□お節介はオーサーシップの侵害、オーバーワークの原因となります。チューターは論文執筆者ではありません。